



## 安心して生まれ、育ち、暮らせるふるさと生駒をつくろう

順調に

# 市立病院建設工事進行中！

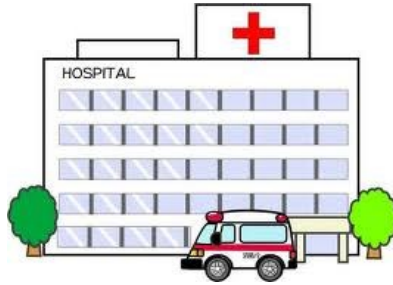


**目次**

P1  
・市立病院  
・いこま国際音楽祭

P2,3  
・医療と介護  
・環境・子育て  
・12月議会の案内

P4  
・9月議会の報告



夏から2度の大型台風に見舞われましたが建設工事は順調に進んでいます。

連携ネットワーク協議会』といった組織の設置を提案しています。報告書は今月開催予定の病院事業推進委員会に提出されます。同委員会では、市民参加の管理運営協議会についての議論も始まります。来年6月の開院に向けた準備が加速していきます。

また、病院事業推進委員会は8月29日に5回目となる医療連携専門部会を開催し、市民や医療機関、介護事業所向けのアンケートなどをもとに『生駒市における地域医療連携体制の構築に向けて』と題した報告書をまとめました。課題を整理し、市役所内組織『(仮称)生駒市医療連携推進会議』や地域医療にかかわる多職種からなる『(仮称)生駒市医療

一方、職員募集も始まっています。市のHP、病院建設課のページ“職員募集”から病院長予定者今村正敏医師の病院運営に臨む姿勢を知ることができます。“患者さんに優しい治療、安全・安心で質の高い医療、あたかも生駒地域が一つの病院であるような医療体制を目指す”今村医師の姿勢に私は共感し、期待を膨らませています。(HP：ホームページ)

### 市民がつくる音楽祭：情熱的なタンゴや懐かしい日本の歌に包まれる一時を！

## 第5回 いこま国際音楽祭 18日開幕

### みんなで選ぶ“聴衆賞”

マスタークラスの成果が示される『クロージングコンサート 22日13時～(無料)』で、今回初めて聴衆賞を決めます。“皆さんの1番”を選んでください。聴衆賞の発表は23日のコンサート会場。

### 3つの大コンサートは 21、22、23日

- 21日(金)19時開演  
ドボルザーク、シューマン、城ヶ島の雨他
- 22日(土)18時開演  
ドビュッシー、ファリャ、お六娘他
- 23日(日)15時開演  
ストラビンスキー、団伊玖磨の(夕鶴)他  
ビゼーのカルメンや東北と生駒のわらべ歌を音楽祭の児童合唱団が歌います。

### マスタークラスは 18～22日

ピアノ、ヴァイオリン、声楽で開講。昨年は小学1年生も受講。北海道や海外からの参加もありました。レッスンにより上達する様子を聴講できます。

- 《全席自由席》 クロージングコンサートは無料
- ☆ 21、22、23日の各コンサート(当日券は500円増し)  
前売り 2,500円 / 高校生以下(高) 1,500円
- ☆ 3つのコンサート通し券(マスタークラス聴講も可)  
前売りのみ 6,000円 / (高) 4,000円
- ☆ マスタークラス聴講(2日間) 1,000円



詳細は市HPいこま国際音楽祭のページや公共施設のチラシをご覧ください！

プロブも  
ご覧ください。  
<http://www.eonet.ne.jp/~ikomanomirai>

# 地域包括ケアシステムの構築をめざして！

## 地域包括ケアシステムとは・・・

県はHPで次のように説明しています。

高齢化が進展し、認知症高齢者や一人暮らし高齢者が増加するなか、介護や支援が必要になっても、高齢者が尊厳を保ちながら、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、住まい、医療、介護、予防、生活支援が、日常生活の場で一体的に提供できる地域での体制（地域包括ケアシステム）が必要です。奈良県では、各地域の実情に応じた地域包括ケアシステムの構築を目指しています。



地域包括ケアシステムの構築を！

## 市民福祉委員会：地域包括ケアシステムについて調査し、市に提言！

私が委員長を務める市民福祉委員会は6月議会以降、地域包括ケアシステムについて調査しました。先進地として有名な富士宮市、柏市、尾道市を視察。市内の地域包括支援センターや医師会を訪問。担当課、民生委員の皆さん、社会福祉協議会からもお話を伺い、現在検討中の介護保険事業計画に役立ててほしいと、提言としてまとめ市に提出しました。9月議会開会日に委員長報告を行いました。

## 尾道・柏市、医療と介護の連携進む！

先進地の富士宮市は高齢者だけでなく、児童虐待や生活困窮者の相談にも応じる窓口『地域型支援センター』を設置し対応。柏市、尾道市では医療と介護や多職種の連携が進んでいました。特に尾道市では在宅医療の必要性を認識した医師の呼び掛けにより、全国に先駆け地域包括ケアが実践されてきました。また、尾道市立尾道市民病院での、患者さん中心の入院から退院・在宅へとつながる多職種のきめ細やかな連携は来年開院する生駒市立病院の手本となる取り組みとされました。

先進地の取り組みは市議会のホームページ【委員会調査報告】からご覧いただけます。詳細に報告しています。開会日の委員長報告は会議中継 録画配信 9月16日11:00～ ご確認ください。

## 生駒でも医療と介護の連携に期待！

委員会調査で、生駒市内の在宅支援は概ね充足していること、訪問看護も充足、市内の診療所では往診依頼の約9割は受けていることなどを伺い、患者さんにとって良好な医療が提供されていることに安堵しました。さらに、かかりつけ医を支え介護を支える病院として市立病院も加わります。医療と介護の連携や、市や包括支援センター、民生委員や自治会、地域の皆さんの協力による良好な地域包括ケアの実現を期待します。



## 市の介護予防事業は全国から注目！

生駒市ではこれまで様々な取り組みを実施してきました。平成24年から本年3月まで厚労省のモデル事業である介護予防強化推進事業に取り組みました。市の企画や地域の取り組みに参加しいつまでも自分らしい生活を！

☆ **通院中の方は・・・**病気以外のことでも、生活していく中で不安を感じたら、かかりつけ医や入院先・通院先の医師に相談してください。介護保険のサービスが必要な場合は、市や地域の包括支援センターなどの相談窓口を教えてください。窓口では介護サービスだけでなく様々なサービスについて説明してくれます。 **地域包括ケア、スタートはあなたから！**

一番大切なことはかかりつけ医と良好な関係を築くことです。私も参加するNPO法人生駒の地域医療を育てる会は昨年“生駒型かかりつけ医”を提案しました。参考にしてください。

『生駒型かかりつけ医』については奈良県のホームページ協働推進課：平成25年度地域貢献活動助成事業報告書その2P13からご覧いただけます。

## ☆ 相談できるかかりつけ医のいない方、健康に不安はないと思っておられる方は・・・

毎年8月ごろまでに、65歳以上の方には市から『基本チェックリスト』が届きます。必ず回答し返信してください。自分で気が付かなくても生活機能に低下のある方には報告が届きます。複数の項目に問題が見つかれば、担当者から連絡があります。また、生活の中で不安を感じたら市の窓口、社会福祉協議会、民生委員さんなどに相談してください。

# 環境・子育て // その他の声も紹介！

## 生駒市は国選定 “環境モデル都市”

地球温暖化は地球の危機、喫緊の課題です。内閣府は温室効果ガス排出の大幅な削減など低炭素社会の実現に向け、高い目標を掲げて先駆的な取り組みにチャレンジする23自治体を選定。今年3月、生駒市も選ばれました（近畿で5番目）。生駒市は『市民・事業者・行政の“協創”で築く低炭素“循環”型住宅都市』を目指しています。

来年5月21～23日、環境政策に熱心に取り組む全国の市町村（現在52）が集うネットワークの会議が生駒市で開催される予定です（第23回環境自治体会議 いこま会議）。



これから5年間の

## 子ども・子育て支援の計画策定中！

子ども・子育て支援法に基づき平成31年までの5年間の計画を検討中。アンケート調査や現状分析などから様々なサービスの見込み量を算定し計画中です。子育て中の方は計画をチェックし、パブリックコメントを提出しては？ 皆さんならではの気づきがあるかもしれません。なお、国の制度変更により幼稚園の保育料は保護者の所得に応じた負担に変わります。

12月5日開会

## 12月議会：身近な計画など盛りだくさん

正式な日程は12月2日の議会運営委員会で決まります。審議案件は26日に説明されます。

現在、自治基本条例の見直しや介護保険事業計画、高齢者福祉計画、障がい者福祉計画、男女共同参画行動計画、子ども・子育て支援事業計画の策定などが行われていますので、12月議会には、議案のほか、いくつかの計画も提示される見込みです。議案説明会と全員協議会を除き、本会議や委員会はインターネットで中継されます。市のHPから見る事ができます。また、全て傍聴できます。

なお、計画案は議会に提示後、市民の皆さんの意見をお聞きし（パブリックコメント実施）計画は完成です。ぜひ声を届けてください。

市民参加のまちづくりを！ 傍聴にお越しください！

## 「どこでも講座 ごみの減量」を開催

3月議会で私も賛成し、平成27年4月からの家庭ごみの有料化が可決しました。6月7日、地元の西旭ヶ丘で樋口稔議員と「どこでも講座」を開催しました。有料化実施後の不法投棄の増加を心配する声が多く寄せられました。

## 働くパパ・ママに心強い「病児保育」！

近所に住む娘は育児休暇を終え、9月から職場に復帰。3日目、7か月の孫はかかりつけ医が休診の夕方に高熱を出しました。翌日は職場の保育所に預けられないため病児保育のお世話になりました。その後、早朝出勤の娘に代わり、私が連れて行くことに……。安心して預けることができました。



## ファミリー・サポート事業

働くパパ・ママだけでなく、日頃の子育てからちょっと開放、リフレッシュしたいママ・パパもサポート。私も広報いこまの案内を見てファミリーサポート講習を受けました。援助会員、依頼会員が担当スタッフの同席もと、しっかり事前の打ち合わせを行います。地域で子どもを見守り育みたいですね。

## 声の紹介

- ☆ お墓：将来にわたりお墓の管理不要な公園墓地のような公営の共同墓地がほしい。
- ☆ 公園：高齢者が使える健康遊具を設置してほしい。人が集うとごみのポイ捨ても減るのでは。
- ☆ 介護：休日、親を預けてコンサートに行きたい。

## 開催日程(予定)

11月26日 (水) 13-	議案説明会
12月2日 (火) 10- 13-	議会運営委員会 全員協議会
12月5日 (金) 10-	本会議・一般質問
8日～10日 10-	一般質問・本会議
12日 (金) 10- 13-	都市建設委員会 市民福祉委員会
15日 (月) 10- 13-	環境文教委員会 企画総務委員会
17日 (水) 10-	予算委員会
22日 (月) 10-	最終本会議

議事堂へはエレベーターで5階へ。ロビーの絵画もお楽しみください！

# 報告：9月議会

## 市長提案 27、議員提案 4 1議案に伊木は反対、議会も否決



### 議員の定数を24名から20名に削減する提案に反対。 賛成5、反対18で否決！

吉波・西山・有村・山田耕三議員が提案。市民懇談会等での意見聴取なしの突然の提案でした。

私は4年前に削減提案があった時、単身、会津若松市に調査にも出かけ、次のような結論に至りました。『少なすぎると民意を反映しにくくなるため議会の意見が偏る恐れがある。様々な得意分野を持つ議員が政策提案をすれば生駒市はきっとよくなる。議会として役割を果たすためにはそれ相当の数の議員が必要。委員会がしっかり機能するには1委員会7人前後必要。3委員会で十分と判断できれば、21人(3名減)でもよいが、今は判断できない。削減には反対』。

それから4年。私は全ての常任委員会委員を経験。また、この夏実施した市民福祉委員会(委員6名)の調査では、3チームに分かれ、市内の6つの地域包括支援センターから聞き取りを実施しました。現在、私は『常任委員会の所管事業は多岐にわたるので4委員会必要。各常任委員会ですっかり調査し議案を審査するためには6人は必要』と考えます。また議会基本条例では議員定数について下記のように定めています。前回の削減提案時は市内12会場で市民懇談会を開催しました。このような経緯からも賛成できません。

\*議会基本条例 (平成26年1月1日施行)  
(議員定数)

第17条 議会はその役割及び責務を果たすことができるようになることを前提として、議員の定数を別に条例で定める。  
2 議会は定数を変更しようとするときは、市の現状、課題及び行政需要、地方自治制度の動向並びに市民の意見を考慮するものとする。

### 精神障害者に対する福祉医療制度(心身障害者医療費助成事業)の適用を求める請願が提出され、採択されました！

現在、精神障害の方はその障がいの外来診療分だけ医療費が助成されています。身体障害や知的障害の方はその障がい以外の医療費も外来・入院分両方とも助成されています(対象は重度の方)。精神障害の方においても内科や外科など、その障がい以外の科を受診した際の医療費助成を求める請願です(対象は手帳所持者1級と2級の方)。

全議員が賛成し(議長は採決に加われないため賛成23、反対0)請願は採択されました。

精神障害の方においては所得が低いこともあり医療費の負担が大きいこと、そのため受診を控え病状を悪化させること、三障害の方は同等に助成すべきという趣旨など、よくわかるのですが、将来の市民にもお願いすることになる負担を考えると、国による対策の上に県や市町村の対応が必要ではないか、対象範囲は妥当かなど、課題が残ると考えました。しかし、すでに県議会ではこの請願の趣旨に全議員が賛成し、県として医療費の助成が決まっていることから、賛成討論の中で、課題を指摘したうえで賛成しました。また、課題を県議会議員の方にも伝え、対応を求めました。



医療はハート

### 平成25年度決算が認定されました

なお、私は今年初めて委員として決算を監査しました。一般会計、特別会計とも黒字決算または収支均衡、水道事業会計も黒字決算、病院事業会計も問題はありませんでした。

### 2つの意見書を国に提出

- 危険ドラッグの根絶に向けた総合的な対策の強化を求める意見書(全員賛成)
- 刑事裁判における捜査機関手持証拠の全面開示を求める意見書(賛成16、反対7)

### 生駒北スポーツセンターの指定管理者決定

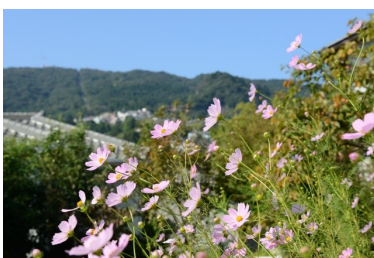
HOSグループ(株式会社東大阪スタジアムと天正株式会社で構成)。平成32年3月まで。

### 人事案件

教育委員会：大学の教育学部教授(欠員解消)  
人権擁護委員：1名再任、1名新任

### その他

補正予算(一般会計10億7千万円は昨年度決算剰余金9億6千万円や施設整備費など)、自己啓発休業や単身赴任手当など職員の待遇に関する条例制定、国の法律の条文変更に伴う条例の改定、市道路線の廃止や認定など。



生駒山を背景に咲くコスモス

### …伊木からのお願い…

いこま国際音楽祭は市と市民の実行委員会(ボランティア)の共催事業。音楽祭の3本柱は、コンサート、音楽家への夢を育てるマスタークラス、生駒の子どもたちに夢を与える世界は友だち音楽塾。1週間近くの大音楽祭は生駒にゆかりのある音楽監督の子どもたちへの熱い思いと市民ボランティアによる手作り。実行委員は公募、論文審査で決まります。映像も市民ボランティア。市民がつくる音楽祭を私は応援してきました。市の補助金と地元事業所からの協賛金、チケット収益で運営。赤字は実行委員会が負担。この手作り音楽祭が長く続くよう、一人でも多くの方のご来場をお願いします。

### 編集後記

11/15,16の市民懇談会を案内しなかったのですが間に合いませんでした。今回のテーマは『若者の定住化』。昨年、娘夫婦が帰ってきて子育てを始めました。今まで以上に子どもを産み育み、安心して暮らしていける自然豊かな終の棲家“生駒”にしたいと思っています。まり子